

## 教育委員会定例会日程

平成21年11月24日

### 1 開 会

### 2 前回会議録の承認

### 3 会議録署名委員の決定

### 4 議事

#### 日程第1

##### 報告第7号

事務の臨時代理の報告（平成21年12月補正予算）について

（学校教育課・文化財課）

#### 日程第2

##### 報告第8号

事務の臨時代理の報告（小田原市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例）について

（教育総務課）

### 5 協議事項

（1）全国学力・学習状況調査への参加について （資料1 教育指導課）

### 6 報告事項

（1）平成22年度公立幼稚園新入園児応募状況について

（資料2 学校教育課）

（2）小田原高等学校定時制との教育連携について

（資料3 生涯学習政策課）

（3）新総合計画について

（資料4 教育総務課）

### 7 閉 会

報告第7号

事務の臨時代理の報告（平成21年度12月補正予算）について

小田原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成10年3月教育委員会規則第4号）第4条第1項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第2項の規定により、これを報告する。

平成21年11月24日提出

小田原市教育委員会  
教育長 前田 輝男

平成 2 1 年度 1 2 月 補正 予算 要求 概要

(歳入)

(単位：千円)

科目	要求額	主な内容	
(項) 国庫補助金 (目) 教育費補助金	71,630	<u>埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金 (1/2)</u> <u>史跡等購入費補助金 (8/10)</u>	8,665 62,965
(項) 市債 (目) 教育債	11,800	<u>史跡整備事業債</u>	11,800
合計	83,430		

(歳出)

(単位：千円)

科目	要求額	主な内容	財源内訳			
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源
(項) 社会教育費 (目) 文化財保護費	96,618	<u>文化財調査経費</u> 17,330 ・ 緊急発掘調査費 調査補助委託料等  <u>史跡小田原城跡整備経費</u> 79,288 ・ 史跡小田原城跡用地購入費 A = 928.14 m <sup>2</sup>	71,630	11,800		13,188
合計	96,618		71,630	11,800		13,188

債務負担行為補正

(単位：千円)

事項	期間	限度額
学校給食調理委託料 (橋学校給食共同調理場・富水・東富水・大窪・久野・矢作小学校)	平成 21 年度	( 予算計上額 0 )
	平成 22 年度	118,189
	平成 23 年度	118,189
	平成 24 年度	118,189
	計	354,567

# 学校給食調理業務の民間委託について

## 1 経緯

平成 8 年に市の「行政改革大綱」の見直しを行い、その中で「退職職員の不補充」と「民間活力の導入」の基本方針を打ち出した。

この方針に沿って、学校給食における調理業務の民間委託の検討を開始し、平成 13 年に政策決定を行い、平成 14 年度から導入した。

## 2 実施状況

民間委託の実施状況については下記のとおり。

**平成 22 年度は久野小学校・矢作小学校の 2 校で新規に実施するとともに、平成 19 年度から業務委託を実施した富水小学校・東富水小学校・橘共同調理場及び平成 17 年度から実施した大窪小学校について、契約を更新する。**

今後も調理員の定年退職者等の状況を勘案し、順次委託化を進める。

(退職予定者 21 年度 4 名)

### 〔民間委託実施状況〕

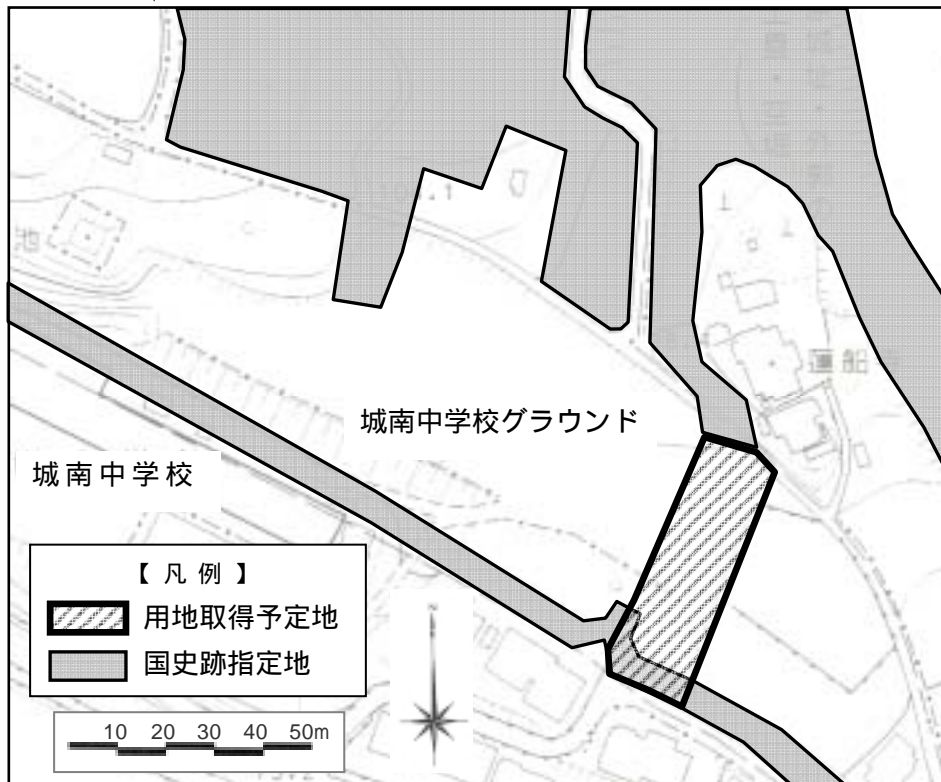
	委託調理場・小学校	備 考
平成 14 年度	橘共同調理場	前羽小学校・下中小学校 橘中学校 前羽幼稚園・下中幼稚園
平成 15 年度	国府津共同調理場	国府津小学校・下曾我小学校 国府津中学校
	豊川共同調理場	片浦小学校・豊川小学校 城南中学校・片浦中学校
平成 16 年度	千代小学校・富士見小学校	
平成 17 年度	大窪小学校	
平成 18 年度	実施なし	
平成 19 年度	富水小学校・東富水小学校	
平成 20 年度	芦子小学校・桜井小学校	
平成 21 年度	新玉小学校・山王小学校 下府中小学校	
<b>平成 22 年度</b>	<b>久野小学校・矢作小学校</b>	<b>実施予定</b>
未実施 共同調理場 (1 場) 小学校 (7 校)	学校給食センター (対象校：城山中学校・白・中学校・白山中学校・鴨宮中 学校・千代中学校・酒匂中学校・泉中学校・城北中学校) 単独調理校 (三の丸小学校・足柄小学校・早川小学校・町田小学校 酒匂小学校・曾我小学校・報徳小学校)	

# 史跡小田原城跡小峯御鐘ノ台大堀切中堀の用地取得について

## 経過と今後の予定

平成21年10月 7日 小田原市土地開発公社と開発業者が土地売買契約を締結した。  
平成22年 2月頃 市が国庫補助を得て、小田原市土地開発公社から買戻しを行い、所有権移転をする。

・説明板等を設置し、将来は総構散策の主要ルートとして活用する予定である。



小峯御鐘ノ台大堀切中堀 位置図

報告第 8 号

事務の臨時代理の報告（小田原市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例）について

小田原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成 10 年 3 月教育委員会規則第 4 号）第 4 条第 1 項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第 2 項の規定により、これを報告する。

平成 21 年 11 月 24 日提出

小田原市教育委員会  
教育長 前田 輝男

小田原市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

**第1条** 小田原市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例（昭和27年小田原市条例第247号）の一部を次のように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>（期末手当）</p> <p><b>第5条</b>（略）</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれその基準日現在（前項後段に規定する者にあつては、退職、死亡等によりその職を離れた日現在）においてその者が受けるべき給料及び地域手当の月額並びにこれらに100分の45を乗じて得た額の合計額に<u>100分の160</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の区分に応じて小田原市職員の例による割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3・4（略）</p>	<p>（期末手当）</p> <p><b>第5条</b>（略）</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれその基準日現在（前項後段に規定する者にあつては、退職、死亡等によりその職を離れた日現在）においてその者が受けるべき給料及び地域手当の月額並びにこれらに100分の45を乗じて得た額の合計額に、<u>6月に支給する場合においては100分の160、12月に支給する場合には100分の175</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の区分に応じて小田原市職員の例による割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3・4（略）</p>

**第2条** 小田原市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を次のように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>（期末手当）</p> <p><b>第5条</b>（略）</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれその基準日現在（前項後段に規定する者にあつては、退職、死亡等によりその職を離れた日現在）においてその者が受けるべき給料及び地域手当の月額並びにこれらに100分の45を乗じて得た額の合計額に、<u>6月に支給する場合におい</u></p>	<p>（期末手当）</p> <p><b>第5条</b>（略）</p> <p>2 期末手当の額は、それぞれその基準日現在（前項後段に規定する者にあつては、退職、死亡等によりその職を離れた日現在）においてその者が受けるべき給料及び地域手当の月額並びにこれらに100分の45を乗じて得た額の合計額に<u>100分の160</u>を乗じて得</p>

<p>ては100分の140、12月に支給する場合においては100分の160を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の区分に応じて小田原市職員の例による割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3・4 (略)</p>	<p>た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の区分に応じて小田原市職員の例による割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3・4 (略)</p>
---	--

### 附 則

この条例中、第1条の規定は平成21年12月1日から、第2条の規定は平成22年4月1日から施行する。

(理由)

国家公務員の給与制度に準じて教育長の期末手当の額を引き下げするため提案するものであります。



今後の本市における学力・学習状況の把握について

教育指導課

1 市の学力の把握について

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
市小中学校学習実態調査	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆			
県公立小中学校学習状況調査	抽出	抽出	抽出	抽出	悉皆	抽出	抽出
全国学力・学習状況調査					悉皆	悉皆	悉皆
調査結果の活かし方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクワク学習帳の作成・配布                      小学校(国語・算数) ← 土曜講座おだわらっ子ワクワク学習教室 →                      小学校(国語・算数・英語)</li> <li>・県公立小中学校学習状況調査結果のまとめ配布 →                      ・全国学力・学習状況調査結果の分析と今後の指導について配布                      ・小田原市の分析結果について配布                      ・学校訪問による指導</li> <li>・学校教育に関する取組の重点・学校教育関係グランドデザインに反映 →</li> </ul>						

2 国・県の方針変更について

**全国学力・学習状況調査**

平成22年度以降

- ・全国40%の抽出調査と市町村教委単位の希望調査の併用  
 学級単位で抽出 1校で2学級もあり得る  
 個人票も来る  
 今後、調査教科数を増やすことも検討される見通し

**県公立小中学校学習状況調査**

平成22年度

- ・小3 国算 ・小5 社理のみ ・中2 実施しない
- ・意識調査 検討中

平成23年度

- ・小3 国算 ・小5 実施しない ・中2 社理 英  
 実施時期も、あり方検討委員会で検討中 のみ

3 それぞれの調査に参加した場合のメリット・デメリット

**全国学力・学習状況調査**

**メリット**

- ・平成19年度からの3年間のデータとの比較ができる。
- ・希望参加には無償で問題の提供がある。
- ・学習状況調査は詳細である。

**デメリット**

- ・抽出以外はすべて各市町村教委で採点(実際には各学校)・データ管理を行う。
- ・業者への委託もできるが、費用は市町村教委負担。契約も市町村対応。(業者委託の場合一人当たり2千数百円かかる見込み)

**県公立小中学校学習状況調査**

**メリット**

- ・全国調査にはない教科(社・理・英)の受検が可能。
- ・結果が出るのは3ヵ月後。全国より1ヶ月早い。
- ・より実態に即した把握が可能。

**デメリット**

- ・全て、採点・データ入力は各学校で行う。
- ・実施しない学年・教科が出てきた。
- ・意識調査も、全国よりは簡易なものであり、生活面には踏み込んでいない。
- ・希望参加の場合は問題も自校印刷。

4 全国学力・学習状況調査等への参加に関するアンケート結果について

教員編

**全国学力・学習状況調査**

- ・参加希望の学校 0校
- ・意見が割れた学校(19校)の内訳  
 希望する職員 26% 希望しない職員 74%
- ・希望しない学校 18校

**主な希望する理由**

- ・実態を継続的に把握し、授業改善や指導力向上に役立てる。
- ・より多くのデータで検証でき、全国の中の位置がわかる。
- ・児童・生徒が真剣に取り組む経験となり、実力を知る良い機会となる。B問題などは刺激になる。

**主な希望しない理由**

- ・3年間やって、費用・労力・時間をかけて実施した割には効果を感じられない。負担が大きく、多忙化につながる。
- ・調査や事後指導、採点・分析にかかる時数を生み出すことが難しい。その時間を、他の指導や教材研究等に充てたい。
- ・結果の開示に伴い、学校の序列化、他県・他市・他校との格差が目目され、無用の心配と不信感を招く恐れがある。
- ・学力の実態は家庭環境や地域の実態も影響するのに、教師の指導力だけが問われ不公平さを感じる。
- ・学力のとらえと内容が一面的であり、抽出調査で十分。

**県公立小中学校学習状況調査**

- ・参加希望の学校 10校
- ・意見が割れた学校(18校)の内訳  
 希望する職員 31% 希望しない職員 69%
- ・希望しない学校 9校

**主な希望する理由**

- ・従来から、抽出校にならなくても校内印刷をして毎年参加しているのが慣れていて採点もしやすい。
- ・何らかの形で現在の学力・学習状況や過去からの推移を客観的に把握し、授業の工夫・改善に反映させたり、指導力を評価したりする必要がある。
- ・実状に即し、独自の視点や考え方で詳しく調査でき、活用もしやすい。
- ・児童・生徒のいろいろな体験の一つとし、意欲を高めたり家庭学習等を指導する一助にしたい。

**主な希望しない理由**

- ・調査のための時数確保が難しい。採点、データ入力にも時間がかかる。その時間を、他の指導や教材研究等に充てたい。
- ・児童・教師ともに負担が大きく、多忙化につながる。
- ・結果を有効に活用できるとは思えない。

全国学力・学習状況調査

【次年度受検対象の学年、各校1学級を抽出して調査】

小学5年生保護者(514名)

希望する 78% 希望しない 22%

中学2年生保護者(312名)

希望する 75% 希望しない 25%

主な希望する理由

- ・ 自分の子どもの学力・学習状況の現状を把握したいから。
- ・ 自分子どもや、所属校、市全体、県全体が、全国的に見てどのレベル(位置)にあるのかを知りたいから。
- ・ 現在の絶対評価や の成績表では、子どもの学力が判断できないから。(小学校)
- ・ 子どもにとっても良い刺激・経験になり、自分の状況を明確にして課題意識をもち、学習に取り組んでいけるから。
- ・ 「ゆとり教育」の推進による学力低下が心配。現状を把握し、「ゆとり教育」を見直す対策をとるために必要。
- ・ 結果を指導 改善に活かしてほしいから。
- ・ 学校で、学力を客観的に把握する機会が他にないから。
- ・ 進路を考える上で参考になるから。(中学校)

主な希望しない理由

- ・ 結果が分かるのが遅い。個人に対するフィードバックがはっきりせず、参加しても意味がない。
- ・ 全国規模で調査する意義を感じないし本人の学力向上に大きく影響するとは思えない。県内での相対評価が重要。
- ・ 授業時間をつぶしてまで参加する価値はない。他に優先すべきことがある。普段の授業の充実を望む。
- ・ 地域・学校の序列化を助長するものであるから。
- ・ 本人が希望しないため。また、小学生には必要ない。

県公立小中学校学習状況調査

【次年度受検対象の学年、各校1学級を抽出して調査】

小学5年生保護者(514名)

希望する 77% 希望しない 23%

中学2年生保護者(312名)

希望する 79% 希望しない 21%

主な希望する理由

- ・ 子どもの学力・学習状況を把握したいから。(絶対評価は分かりにくい)
- ・ 子どもが自分の学力を把握し、意欲的に学習を進めるきっかけにしてほしいから。また、いろいろな経験をさせたいから。
- ・ 学校が県内でのレベルを把握し、指導の改善につなげてほしいから。
- ・ 受験・高校進学のための参考にしたいから。
- ・ 全国を受けないならば参加させてほしい。どちらか一方でも参加して学力を把握し、改善策を考えることが必要。

主な希望しない理由

- ・ 全国調査に参加を希望するから。県よりも全国規模での調査の方が、より客観的な把握ができるから。
- ・ 時間をかけて参加するより、普段の授業にもっと力を入れるべき。
- ・ 個人へのフィードバックがあまり感じられないので参加しても意味がない。

5 他市町の状況について

全国学力・学習状況調査

【11/20 現在 電話による聞き取り調査の結果 18市近隣10町】

次年度の参加予定

参加(13市町) 南足柄 横須賀 茅ヶ崎 相模原 秦野 大和 逗子 伊勢原 三浦 箱根 大井 松田 開成

不参加(7市町) 横浜 川崎 鎌倉 綾瀬 湯河原 大磯 二宮

未定(8市町) 厚木 平塚 藤沢 座間 海老名 中井 山北 真鶴

主な参加する理由

- ・ 一応参加にしている。あとは動向を見極めて教育委員会で決定する。
- ・ 幅広く調査したいから。
- ・ 今までも県に悉皆参加してきた。県が実施教科を国と合わせて考えているようなので参加する。
- ・ 学校へ調査したところ希望があったため

主な参加しない理由

- ・ 予算措置が必要なため。
- ・ 過去3年間で実態を把握できたため。
- ・ 学校にも負担がかかるため。

県公立小中学校学習状況調査

【11/20 現在 電話による聞き取り調査の結果 18市近隣10町】

次年度の悉皆による参加予定

参加(8市町) 南足柄 横須賀 逗子 三浦 箱根 中井 山北 二宮

不参加(15市町) 横浜 厚木 鎌倉 平塚 藤沢 茅ヶ崎 秦野 相模原 大和 座間 海老名 綾瀬 伊勢原 開成 大磯

未定(5市町) 川崎 真鶴 湯河原 大井 松田

こちらは、もともと悉皆参加が原則ではないので理由は聞いていない。

各市町の独自調査について

【11/20 現在 電話による聞き取り調査の結果 18市近隣10町】

独自調査を実施している自治体(5市町)

横浜 川崎 南足柄 箱根 真鶴 (厚木...検討中)

平成22年度 全国学力・学習状況調査 希望利用方式への意向状況(県内他市)

参加 不参加× 未定 あり なし× 未定

自治体名	希望調査への参加	理由	県への希望参加	希望調査の有無	具体的な内容	備考	聞き取り先担当者名
							課 S
1 横浜市	×	予算措置等が必要なため	×		小学校1～2年生＝国・算 小学校3～6年生＝国・算・理・社 中学校＝国・数・理・社・英		小中学校教育課 河島S 045-671-3265
2 川崎市	×	予算措置等が必要なため。詳細が不明なため。			小学校5年生＝国・算・意識調査 中学校＝国・数・理・社・英＋中学校2年生のみ意識調査		総合教育センター カリキュラムセンター・河野室長 044-944-2600
3 厚木市		予備調査？では参加を希望したが、現段階では検討中 採点・分析などの方法や費用について課題がある。(B問題の採点をどのようにしていくのかなど)	×		今までは市独自のものはやっていないが、全国との関連で不参加の場合は必要になるかも知れず、検討中。	市の指標に全国調査を入れてきたため参加について考慮中である。	学校教育課 山口S 046-223-1511
4 鎌倉市	×	過去三年間において県の結果はほぼ変わっていない。全国規模でもほぼ同じであろう。市もかわっていない。現段階の課題をどうするか考えていけばよい。しばらくは抽出のみでわかるだろう。	×	×		センターにおいて3年に1回意識調査は行っている。	0467-61-3812 教育指導課 島田
5 南足柄市			今までも		漢字計算に関する実態調査 小一から中2 漢字20問 計算20問 教科書程度の内容のもの 1月から2月に一斉に		0465-73-8061 教育研究所 瀬戸
6 横須賀市		幅広く調査したい。今のところは参加予定	今までも		県の調査は市で印刷をしてこれまでも実施。県の方向が変わって、検討の余地がでてくれれば再考する		学校教育課 塚田S 046-822-8479
7 平塚市		まだ、決めかねている。やり方によっては予算もかかることなので、即決できない。	×	×			0463-35-8120 指導室 相原S
8 藤沢市		予備調査では参加を希望したが、現段階では検討中	×	×			0466-25-1111 教育指導課 吉住
9 茅ヶ崎市	だが	希望で出したが未確定。動向を見守りながら考えていく	希望性で予算を計上している	×	今後も考えていない		0467-82-1111 教育指導課 小野
10 相模原市		一応、希望で出したが未確定。動向を見守りながら考えていく	×	×			042-769-8284 学校教育課 桐生S
11 秦野市		予算段階での調査は希望で出した。(希望していないと抽出のみになってしまうため)正式には、教育委員会定例会で決定するが、学年全体で実施したいという学校の希望も耳にしているのので、今のところ参加することとしている。今後、学校への意向調査もかける予定。	×	×			0463-84-2786 教育指導課 桐山S
12 大和市		予算段階での調査は希望で出した。正式には、教育委員会定例会で決定する。今後、学校への意向調査もかける予定。全校が参加することにはならないと思われる。	×	×			指導室 犬塚S 046-260-5210
13 座間市	(×)	予算段階での調査は希望で出した。採点のための費用が予算化されていない。学校採点することを校長会に諮るが、希望参加しない方向になるだろう。	×	×			教育指導課 日極S 046-252-8737
14 海老名市		やりたくないというのが前提。1クラスだけでは意義を感じないし、抽出も断りたい思いである。やるとすれば全学級で行いたい。そうすると実施及び採点における各学校の負担が気になる。後日、校長会にかけるとしている。	×	×			046-231-2111 学校教育課 鷺野S(666)
15 綾瀬市	×	国が方針を変更したことを受けて。集計業務に関わる費用が予算化されていない。	×	×			教育指導課 森山S 0467-70-5660
16 逗子市	の方向	今まで県の調査を市の調査として希望参加していた。県は教科を減らし、国と合わせてという方針で指示があるらしいので、今のところ希望参加を考えている。		×	県の調査に希望で参加し、市の調査としていた。	今までのデータとの比較を考えると、全国・県両方の希望参加となる方向	学校教育課 吉川S 046-873-1111(512)
17 伊勢原市	の方向	実施の方向である。これまでは県の調査を実施して、それに代えようと考えていたが、県の状況を見て、市で抽出校を選んで実施する方向にした。その場合は、予算要求をして業者委託としていくつもりである。	×	×			0463-94-4711 指導室 高橋S(5131)
18 三浦市	の方向	参加しないという大きな理由がない。		×	全国、国の調査への希望調査で、市の調査としている。	対応：教育研究所 檜垣S(担当は学校教育課山田S)	学校教育課 及川課長 046-882-1111

近隣の町

箱根町		お金をかけずにやる。採点等も教育委員会が協力する方向。平均値は出すが、実際には町の平均を出すことに意味があるのか疑問を感じている。大切なのは、各校での活用。簡単な傾向は出す予定。			5分くらいでできる漢字と計算問題。継続してやっている。	県の「学びづくり」を受けている関係で、県の問題は全員分無料でもらえる。	0460-85-7600 学校教育課 平塚
真鶴町	検討中	予算面かどうか、情報が錯綜している。抽出のとき片方はやらないでよいが、ベネッセとの兼ね合いもある。1回は確かめたい。	トータル的に考えている		ベネッセ 小2から小5まで希望で行っている。県全国もあわせ、やっていない学年もあるが		
湯河原町	×の方向	調査結果のまとめ等、お金がかかる。学校にも負担をかけることになるので。		×			
中井町		予備調査？では参加を希望したが、現段階では検討中		×	県の調査を来年度は予算化して希望参加の予定 県の調査への希望調査で、市の調査としている。(全国?)		教育課 岩淵 0465-81-3906
大井町		教育長判断		×			教育総務課 野地S 0465-85-5015
松田町		全部の学校に希望するか調査をしたところ、希望があったため。		×			教育課 0465-83-7023
山北町		実施による予算や分析等の負担を考えると不安であり、実施できる状況にない。しかし、周辺の市町がごとく参加の方針を示すような事態になれば、山北町の方針にも影響があると思われる。		×			75-3648 学校教育課 植松S
開成町	の方向	小さな町なので、学級抽出ではなく、希望で行うことにより、傾向がより把握できるから。	×	×			84-0324 教育総務課 遠藤S
大磯町	の方向	定例会を経て最終的に決定	×	×			0463-61-4100 子ども育成課 萩S
二宮町	×	校長会と相談。積極的な参加はしない。抽出に当たった場合は希望で行う。	教科を選んで参加、予算化の体力がない	×		中地区全体の雰囲気として積極的な参加はしない様子 今後校長会と相談。	教育総務課 久保田S 0463-71-3311

## 資料 2

### 平成22年度公立幼稚園新入園児応募状況

平成21年11月4日現在

幼稚園名	総定員 A	4歳児定員 B	区域内3歳児	願書配布数 C	受付者数	入園予定数 D	4歳児入園 割合(%)D/B	5歳児見込 E	H.22見込総 数 D+E=F	総定員に対す る割合(%)F/A	通園区域 小学校区
酒匂幼稚園	210	105	186	60	56	56	53.3	63	119	56.7	酒匂、富士見
東富水幼稚園	140	70	206	44	42	42	60.0	58	100	71.4	富水、東富水
前羽幼稚園	70	35	20	11	10	10	28.6	9	19	27.1	前羽
下中幼稚園	140	70	56	22	21	21	30.0	28	49	35.0	下中
矢作幼稚園	140	70	256	72	68	70	100.0	49	119	85.0	矢作、豊川、下府中
報徳幼稚園	70	35	143	40	39	35	100.0	35	70	100.0	桜井、報徳
計	770	385	867	249	236	234	60.8	242	476	61.8	

11/3抽選

#### (参考)過去3年間の応募状況

幼稚園名	平成19年度				平成20年度				平成21年度			
	区域内3歳児 A	願書配布数 B	入園数 C	入園率(%) C/A	区域内3歳児 A	願書配布数 B	入園数 C	入園率(%) C/A	区域内3歳児 A	願書配布数 B	入園数 C	入園率(%) C/A
酒匂幼稚園	213	70	70	32.9	208	72	68	32.7	190	66	61	32.1
東富水幼稚園	261	54	54	20.7	207	58	55	26.6	206	62	62	30.1
前羽幼稚園	14	7	7	50.0	23	11	10	43.5	26	9	9	34.6
下中幼稚園	73	42	42	57.5	60	28	28	46.7	60	31	29	48.3
矢作幼稚園	262	64	64	24.4	247	70	69	27.9	254	57	50	19.7
報徳幼稚園	145	27	27	18.6	155	35	35	22.6	137	44	35	25.5
計	968	264	264	27.3	900	274	265	29.4	873	269	246	28.2

## 小田原高等学校定時制との教育連携について

### 1 連携の趣旨

学生及び地域住民の交流を通して、相互に視野を広げ、学生においては実社会に即した職業意識の形成を、また地域住民においては、学び直しの機会とし、地域教育力の向上に寄与する。

### 2 連携に至るまでの経緯

神奈川県立小田原高等学校定時制では、今年度から地域の各種学校等の協力による「実学講座（別紙）」を実施し、様々な仕事への理解を深め、生徒の実社会に対する意識を育てる取り組みを実施している。

本市教育委員会は、小田原市及びその周辺地域の人々の視野を広げ、健全な職業観の育成に係る取組や社会参画に係る活動等の活性化を図るために、この取り組みに賛同することとした。

### 3 連携の主な内容

- ・小田原高等学校定時制が実施する教育活動について、小田原市の広報活動等による協力
- ・小田原市が実施する教育活動、教育事業についての小田原高等学校定時制の講師派遣等による協力
- ・地域の教育についての情報交換等

### 4 覚書

上記連携のため、平成 21 年 10 月 14 日（水）、小田原市役所内において調印式を行い、覚書を取り交わした。

#### 【事務担当】

生涯学習政策課学習政策担当(33-1710)

実務は生涯学習センター

## 平成21年度 実学講座

講座名	取組概要・科目名	期間	曜日	実施日	担当	認定先
1 医療講座Ⅰ	理学療法士、作業療法士、看護師、医療事務の仕事紹介	前期	月曜	① 5/11 ② 5/18 ③ 6/1 ④ 6/8 ⑤ 6/15	湘南ふれあい学園	
2 医療講座Ⅱ		後期	月曜	① 9/28 ② 10/5 ③ 10/19 ④ 10/26 ⑤ 11/9		
3 介護講座Ⅰ	アィマシ、車椅子体験、視覚障害者、身体障害者理解、旧「福祉入門」	前期	木曜	① 4/16 ② 4/23 ③ 4/30 ④ 5/7 ⑤ 5/14	東京国際福祉専門学校	
4 介護講座Ⅱ		前期	木曜	① 5/21 ② 6/4 ③ 6/11 ④ 6/18 ⑤ 6/25		
5 レクリエーション講座	レクリエーションの仕方、野外活動	夏季集中		① 8/24 ② 8/25	崎村調理学専門学校	家庭
6 ホームヘルパー講座	2級認定、4単位、実費76,000円	夏季集中		講義4週間+実習4日間		
7 手話講座Ⅰ	基本的な日常会話の仕方の習得、聴覚障害者理解、旧「福祉入門」	後期	木曜	① 9/17 ② 9/24 ③ 10/1 ④ 10/15 ⑤ 10/22	手話サークル「城の会」	
8 手話講座Ⅱ		後期	木曜	① 10/29 ② 11/5 ③ 11/12 ④ 11/26 ⑤ 12/3		
9 保育講座Ⅰ	前期「こどもと遊び」、後期「子どもと生活」をテーマとした実践指導	前期	火曜	① 6/2 ② 6/9 ③ 6/16 ④ 6/23 ⑤ 6/30	小田原女子短期大学	
10 保育講座Ⅱ		後期	火曜	① 9/29 ② 10/6 ③ 10/13 ④ 10/20 ⑤ 10/27		
11 調理・パティシエ講座Ⅰ	自立生活のための、進路選択としての基本的な料理スキル	前期	水曜	① 6/24 ② 7/1 ③ 7/8 ④ 7/15 ⑤ 7/29	崎村調理学専門学校	
12 調理・パティシエ講座Ⅱ		後期	水曜	① 9/30 ② 10/7 ③ 10/14 ④ 10/21 ⑤ 11/4		
13 美容講座Ⅰ	美容師の仕事の実践的理解	前期	水曜	① 5/13 ② 5/20 ③ 6/3 ④ 6/10 ⑤ 6/17	関東美容専門学校	
14 美容講座Ⅱ		後期	水曜	① 11/4 ② 11/11 ③ 11/25 ④ 12/2 ⑤ 12/9		
15 美容体験Ⅰ	ワックス実習	夏季集中		7/30	横浜国立大学	芸術
16 美容体験Ⅱ	ワックス実習	冬季集中		12/21		
17 マンガ講座	プロ漫画家の実践指導	前期	水曜	① 5/13 ② 5/20 ③ 6/3 ④ 6/10 ⑤ 6/17	横浜国立大学	
18 ゲーム講座	簡単なゲームプログラミング	後期	水曜	① 10/7 ② 10/14 ③ 10/21 ④ 10/28 ⑤ 11/4		
19 アニメ講座	簡単なアニメーション制作	後期	水曜	① 12/2 ② 12/9 ③ 1/13 ④ 1/20 ⑤ 1/27	カトリックスクール	
20 イラスト講座	Macによるイラスト制作	夏季集中		① 8/3 ② 8/4		
21 トリマー講座	トリミングの基本技術体験	冬季集中		① 12/1 ② 12/8 ③ 12/22	ヒューマンアカデミー	
22 メイク・ネイル講座Ⅰ	ヘアメイク、メイク、ネイルの実技指導	前期	月曜	① 6/8 ② 6/15 ③ 6/22 ④ 6/29 ⑤ 7/6		
23 メイク・ネイル講座Ⅱ		後期	月曜	① 10/5 ② 10/19 ③ 11/16 ④ 11/30 ⑤ 12/7	OFFICE SHI-YOU	
24 ボイストレーニング講座	ボイカルの基礎テクニック	夏季集中		未定		
25 声優講座	声優の基礎テクニック	夏季集中		未定	ヒューマンアカデミー	
26 卓上ゲーム講座Ⅰ	コミュニケーションツールとしてのカードゲームの活用	前期	火曜	① 6/9 ② 6/16 ③ 6/23 ④ 6/30 ⑤ 7/7		
27 卓上ゲーム講座Ⅱ		後期	火曜	① 10/27 ② 11/10 ③ 11/24 ④ 12/1 ⑤ 12/8	本校国語科教員	国語
28 漢検対策Ⅰ	旧「国語基礎」。目標2級(1単位認定)	前期	月曜	① 4/13 ② 4/20 ③ 4/27 ④ 5/11 ⑤ 5/18		
29 漢検対策Ⅱ		前期	月曜	① 6/1 ② 6/8 ③ 6/15 ④ 6/22 ⑤ 6/29		
30 漢検対策Ⅲ		後期	月曜	① 10/5 ② 10/19 ③ 10/26 ④ 11/9 ⑤ 11/16		
31 漢検対策Ⅳ		後期	月曜	① 11/30 ② 12/7 ③ 12/14 ④ 1/18 ⑤ 1/25		
32 自己表現講座		自己表現力向上ワークショップ	前期	金曜	① 6/12 ② 6/19 ③ 7/3	OFFICE SHI-YOU
33 代ゼミ小論文講座	小論文の書き方指導	前期	月曜	① 7/6 ② 7/13	代々木ゼミナル本校	
34 数学ベーシックⅠ	旧「数学入門」。数学の基礎基本を少人数指導、苦手意識の克服	前期	木曜	① 4/16 ② 4/23 ③ 4/30 ④ 5/7 ⑤ 5/14	本校数学科教員	数学
35 数学ベーシックⅡ		前期	木曜	① 5/21 ② 6/4 ③ 6/11 ④ 6/18 ⑤ 6/25		
36 数学ベーシックⅢ		後期	木曜	① 9/17 ② 9/24 ③ 10/1 ④ 10/15 ⑤ 10/22		
37 数学ベーシックⅣ		後期	木曜	① 10/29 ② 11/5 ③ 11/12 ④ 11/26 ⑤ 12/3		
38 たのしい数学	日常生活に生きる算数の考え方	夏季集中		① 7/28 ② 7/29	ヒューマンアカデミー	
39 英語ベーシックⅠ	旧「英語基礎」。英語の基礎基本を少人数指導、苦手意識の克服	前期	金曜	① 4/17 ② 4/24 ③ 5/1 ④ 5/8 ⑤ 5/15		
40 英語ベーシックⅡ		前期	金曜	① 5/22 ② 6/12 ③ 6/19 ④ 7/3 ⑤ 7/10		
41 英語ベーシックⅢ		後期	金曜	① 9/18 ② 9/25 ③ 10/2 ④ 10/9 ⑤ 10/16		
42 英語ベーシックⅣ		後期	金曜	① 10/23 ② 11/6 ③ 11/13 ④ 11/27 ⑤ 12/4		
43 スポーツ講座Ⅰ	からだのしくみを外側(解剖学)と内側(生理学)から知り、動かす	前期	火曜	① 6/9 ② 6/16 ③ 6/23 ④ 6/30 ⑤ 7/7	ヒューマンアカデミー	
44 スポーツ講座Ⅱ		後期	火曜	① 10/27 ② 11/10 ③ 11/24 ④ 12/1 ⑤ 12/8		
45 カジュアルスポーツⅠ	スポーツコンディショニング	前期	水曜	① 4/15 ② 4/22 ③ 5/13 ④ 5/20 ⑤ 6/3	本校保健体育科教員	保体
46 カジュアルスポーツⅡ	スポーツトレーニング	後期	水曜	① 9/16 ② 9/30 ③ 10/7 ④ 10/14 ⑤ 10/21		
47 スイミング入門	2日間の短期集中講習	夏季集中		① 7/24 ② 7/25	本校保健体育科教員	
48 スノーボード入門	日帰り実地講習。実費8,000円程度	冬季集中		1/6		
49 美化活動Ⅰ	高校周辺の清掃その他環境保全活動	前期	月曜	① 4/13 ② 4/20 ③ 4/27 ④ 5/11 ⑤ 5/18	本校情報処理科教員	情処
50 美化活動Ⅱ		前期	月曜	① 6/15 ② 6/22 ③ 6/29 ④ 7/6 ⑤ 7/13		
51 美化活動Ⅲ		後期	月曜	① 9/28 ② 10/26 ③ 11/9 ④ 11/16 ⑤ 11/30		
52 美化活動Ⅳ		後期	月曜	① 12/7 ② 12/14 ③ 12/21 ④ 1/18 ⑤ 1/25		
53 情報処理入門Ⅰ	旧「情報B」。目標ワープロ実務検定2級(2単位認定)	前期	金曜	① 4/17 ② 4/24 ③ 5/1 ④ 5/8 ⑤ 5/15	本校情報処理科教員	
54 情報処理入門Ⅱ		前期	金曜	① 5/22 ② 6/12 ③ 6/19 ④ 7/3 ⑤ 7/10		
55 情報処理入門Ⅲ		後期	金曜	① 9/18 ② 9/25 ③ 10/2 ④ 10/9 ⑤ 10/16		
56 情報処理入門Ⅳ		後期	金曜	① 10/23 ② 11/6 ③ 11/13 ④ 11/27 ⑤ 12/4		
57 農業入門Ⅰ	前期・梅干づくり、後期・味噌づくり	前期	水曜	① 6/17 ② 6/24 ③ 7/1 ④ 7/8 ⑤ 7/15	本校理科教員	理科
58 農業入門Ⅱ		後期	木曜	① 9/17 ② 9/24 ③ 10/1 ④ 10/15 ⑤ 10/22		
59 農業入門Ⅲ	夏季集中・林業体験、野菜栽培体験	夏季集中		① 8/27 ② 8/28	本校理科教員	
60 農業入門Ⅳ		夏季集中		① 8/31 ② 9/1		
61 たのしい理科	鉱石ラボ工作。実費1,000円程度	夏季集中		① 8/5 ② 8/6	本校地歴公民科教員	地公
62 総合実学講座	進路分野選び、学校選び	前期+後期		① 4/14 ② 7/9 ③ 9/18 ④ 12/4		
63 進路探究Ⅰ	進路先の検討、面接・マナー・履歴書・小論文指導	前期	火・木	① 4/14 ② 4/21 ③ 5/12 ④ 7/2 ⑤ 7/9	本校地歴公民科教員	
64 進路探究Ⅱ		前期	火・金	① 7/14 ② 7/24 ③ 7/28 ④ 7/31 ⑤ 8/7		
65 進路探究Ⅲ		後期	金曜	① 9/18 ② 9/25 ③ 10/2 ④ 10/9 ⑤ 10/16		
66 進路探究Ⅳ		後期	金曜	① 10/23 ② 11/6 ③ 11/13 ④ 11/27 ⑤ 12/4		
67 史跡散歩	地域の歴史的な名所めぐり	夏季集中		① 8/20 ② 8/21	本校地歴公民科教員	
68 工場見学	製造業および技能職についての理解	夏季集中		未定		
69 ボランティア活動	募金活動、放課後児童クラブ参加	不定期		夏季中心	横浜国大教育人間科学部	
70 地域社会参画活動	お祭り、イベントへの参加	不定期		夏季中心		
71 進学個別補習Ⅰ	横国生による苦手科目の個別指導	不定期		月数回	法政大学キャリアデザイン学部	
72 進学個別補習Ⅱ	法大生による苦手科目の個別指導	不定期		月数回		
73 キャリア相談会	法大生との交流を通じた進路探究	不定期		年間5回		

小・中学校及び幼稚園における新型インフルエンザに伴う臨時休業の状況について

		校数 / 学級数	罹患患者
学級閉鎖	小学校	20校 / 112学級	686人
	中学校	9校 / 25学級	151人
	幼稚園	3園 / 6組	22人
学年閉鎖	小学校	6校 / 7学年	571人
	中学校	5校 / 5学年	624人
	幼稚園	0園	-
学校閉鎖	小学校	0校	-
	中学校	1校	39人
	幼稚園	0園	-

上記数値は、平成21年9月1日から11月20日までの累計

# 職務遂行に支障のある職員への対応の手引き（県費負担職員用）及び指導研修手続等に関する要綱の作成について

## 1. 経緯

県教育委員会では、教育公務員特例法に基づき「指導が不適切な教員」へ対応するとともに、それ以外で職務遂行に支障のある職員については、「職務遂行に支障のある職員に対する指導研修手続等に関する要綱（平成19年6月1日施行）に基づいて対応をしている。

市として、今まで県の要綱を運用してきたが、平成21年4月に県教育委員会が作成した【職務遂行に支障のある職員への対応の手引き（県費負担職員用）】及び【指導研修手続等に関する要綱】の「市町村標準モデル」をもとに、職務遂行に支障のある職員への指導を含め、その対応をより適切に行うために市版の手引きと要綱を作成することとなった。

## 2. 目的

学校 公務の能率の維持及びその適正な運営の確保を図ること

職務遂行に支障のある県費負担職員

指導研修等を行うことにより勤務状況の改善を図ること

となる。

## 3. 「職務遂行に支障のある職員」とは

職責を十分に果たせない又は職務の円滑な遂行に支障が生じている勤務状況にあり、職場における日常的な指導による改善が見られない職員

（教育公務員特例法第25条の2第1項の認定を受けているものを除く）

（指導改善研修）

**第25条の2** 公立の小学校等の教諭等の任命権者は、児童、生徒又は幼児（以下「児童等」という。）に対する指導が不適切であると認定した教諭等に対して、その能力、適性等に応じて、当該指導の改善を図るために必要な事項に関する研修（以下「指導改善研修」という。）を実施しなければならない。

休職中の職員（地方公務員法第28条第2項第1号に該当する場合に限る）

（降任、免職、休職等）

**第28条 2** 職員が、左の各号の一に該当する場合においては、その意に反してこれを休職することができる。

1. 心身の故障のため、長期の休養を要する場合

所在不明となった職員

### ○対象とならない職員

非常勤職員 任用期間の定めのある職員（臨任、非常勤など） 条件付採用期間中の職員 その他

### 【懲戒処分との関係】

懲戒処分に該当するものもある。



【作成する手引の掲載項目（第1章～第6章）及び関係規程（第7章）】

第1章	職務遂行に支障のある職員への対応の概要	1
1	職務遂行に支障のある職員への対応の目的	1
2	「職務遂行に支障のある職員」とは	1
3	懲戒処分との関係	2
4	指導が不適切な教員との関係	2
	参考 対象職種、職務遂行に支障のある要因と対応手続	2
参考	職務に支障のある職員のフロー図（決定まで）	3
	職務に支障のある職員のフロー図（指導研修）	4
	職務に支障のある職員のフロー図（第2期指導研修）	5
	職務に支障のある職員に関する作成様式	6
	指導が不適切な場合（教諭を除く）のフロー図（決定まで）	7
	指導が不適切な場合（教諭を除く）のフロー図（指導研修）	8
	指導が不適切な場合（教諭を除く）のフロー図（第2期指導研修）	9
	指導が不適切な場合（教諭を除く）に関する作成様式	10
第2章	指導研修について	11
1	対象職員の把握	11
2	勤務状況の記録	13
3	指導研修対象者の決定手続	14
4	指導研修	16
5	指導研修後の検証	21
6	第2期指導研修の決定手続	22
7	第2期指導研修	23
8	第2期指導研修の効果の測定	24
9	指導面に課題がある職員への対応 総括教諭	27
10	指導面に課題がある職員への対応 養護教諭等	31
11	指導研修に当たっての留意事項	36
第3章	心身の故障と思われる職員への対応	37
1	概要	37
2	受診手続	37
3	受診後の対応	38
第4章	休職中の職員への対応	39
第5章	所在不明の職員への対応	40
第6章	様式	41
第7章	関係規定	67
1	小田原市における職務遂行に支障のある県費負担教職員に対する 指導研修手続等に関する要綱	67
2	小田原市における職務遂行に支障のある職員に対する指導研修期 間等について	71